

事業報告書

(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞の受賞者の選考・決定

平成23年2月15日に開催された平成22年度第3回審査委員会、ならびに同3月2日に開催された平成22年度第4回理事会において、2011年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、平成23年4月15日に財団事務局から国内255名、海外179名の有識者宛に推薦依頼状が発送され、締切り期日の同5月31日までに、国内外あわせて37通、35件の候補者(グループ)の推薦が得られた。これにより過去10年の累積候補者数は163件となった。

受賞者選考に当たっては賞の意義に照らして慎重な選考を行うため、第1回審査委員会の前に予備審査委員会が平成23年6月21日に開催され、累計163件の候補者から8件に絞り込みが行われた。続いて平成23年7月5日に平成23年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2011年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ3名が選考された。

グループ A

吉野 彰 博士 旭化成株式会社 旭化成フェロー

[業績記] リチウムイオン二次電池の開発および実用化に関する先駆的・先導的貢献

グループ B

ノーマン アブラムソン教授 ハワイ大学 名誉教授

ロバート M. メトカルフェ博士 テキサス大学オースティン校 教授
(イノベーション研究)

[業績記] アロハネットからイーサネットに至るインターネットパケットアクセスシステムの発明、標準化および実用化に関する指導的貢献

この選考結果を受けて平成23年7月20日に平成23年度第3回理事会が開催され、評議員陪席のもと、審査委員会原案の通り上記2グループ3名を2011年度C&C賞受賞候補者として内定した。

各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2011年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

1. 2 C&C賞表彰式典

2011年度C&C賞表彰式典を、平成23年11月28日(月)午後3時30分からANAインターコンチネンタルホテル東京において挙行了。まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約100名の列席のもとで、末松審査委員長より両賞の受賞者及び受賞理由の発表があり、次に佐々木理事長より、両賞の受賞者に賞牌などが手渡された。続いて受賞者による受賞講演があり、その後、式典参加者を交えたカクテル、受賞者及び招待者によるディナーパーティーが行われた。

1. 3 C&C若手優秀論文賞

本賞は当財団の国際会議論文発表者助成を受けて海外で発表された論文の中から、毎年1件の優秀論文に対して賞金を授与するものである。今回は審査対象論文72件について平成23年8月29日から10月28日にかけて本賞のために設けられた予備審査委員会により、独創性、有効性等の観点から審査が行われ、その中から9件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文の中から、平成23年12月6日に開催された平成23年度第2回審査委員会において、2011年度C&C若手優秀論文1件が決定され、平成24年1月18日にNEC本社ビルで開催された助成者受給会において、スイヒリ ウサマ氏(慶應義塾大学)に賞金20万円が授与された。

2. 研究助成事業

平成23年3月2日に開催された平成22年度第4理事会において平成23年度事業計画及び予算が審議され、国際会議論文発表者助成及び外国人研究員助成の実施を決定し、研究助成費予算総額を2,250万円とした。なお、博士後期課程進学者助成は、前年同様新規募集は行わず、継続者への受給のみを予定した。

2. 1 国際会議論文発表者助成

平成23年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前 期	後 期	年間計
応 募	99名	90名	189名
助 成	51名	42名	93名
助成額合計	10,400,000円	7,704,150円	18,104,150円

2.2 外国人研究員助成

平成23年度外国人研究員助成は、前年度と同様年一回公募による募集を行なった。助成者としては平成22年12月7日に開催された平成22年度第2回審査委員会において3名を内定した。なお、助成期間は平成23年4月より1年間とし、助成額は1名あたり月額12万5千円、年間150万円とした。

応募	19名
助成	3名
助成額合計	450万円

2.3 博士後期課程進学者助成

博士後期課程進学者助成については、平成21年度、平成22年度につづき平成23年度も新規募集を行わず、平成20年度に選考した平成22年度進学者に対し博士後期課程3年次分助成金200万円の支給を予定した。しかし、受給者が予定より一年早く学位を取得し、平成24年3月に博士後期課程を修了することとなったため助成金支給が不要になった。

2.4 助成者受給会の開催

当財団の助成事業による助成金受給者及び若手優秀論文賞受賞者を対象に次表のとおり助成者受給会を開催した。

開催日	場所	対象者	出席者数
H23年5月20日	NEC本社ビル	H23年度前期国際会議論文発表者助成受給者	20名
H23年12月8日	NEC本社ビル	H23年度後期国際会議論文発表者助成受給者	18名
H24年1月18日	NEC本社ビル	H23及びH24年度外国人研究員助成受給者並びにH22及びH23年度C&C若手優秀論文賞受賞者	6名

II. 総務に関する事項

1. 理事会・評議員会

平成23年度中に次の理事会及び評議員会が東京都港区白金台五丁目7番16号日本電気泉華荘会議室において開催され各議案が審議・承認された。なお、第1回理事会は決議の省略の方法がとられた。

- (1) 平成23年度第1回理事会 (平成23年5月2日 決議の省略)
- 第1号議案 平成22年度認定後期間(H22年12月1日～H23年3月31日)の事業報告書及び財務諸表の審議・承認の件
 - 第2号議案 平成23年度定時評議員会招集の件
- (2) 平成23年度定時評議員会 (平成23年5月16日開催)
- 第1号議案 平成22年度認定後期間(平成22年12月1日～平成23年3月31日)事業報告書及び財務諸表承認の件
 - 第2号議案 評議員会運営規則審議の件
 - 第3号議案 理事選任の件
- (3) 平成23年度第2回理事会 (同上)
- 第1号議案 業務執行理事選出の件
 - 第2号議案 事務局長委嘱同意の件
 - 第3号議案 審査委員選任の件
- (4) 平成23年度第3回理事会 (平成23年7月20日開催)
- 第1号議案 2011年度C&C賞受賞者決定の件
- (5) 平成23年度第4回理事会 (平成24年3月7日開催)
- 第1号議案 平成24年度事業計画案審議の件
 - 第2号議案 平成24年度収支予算案審議の件
 - 第3号議案 特定資産取り崩し審議の件
 - 第4号議案 寄付金の特定資産組み入れの件
 - 第5号議案 平成24年度定時評議員会招集の件

2. 平成23年度事業日誌

－各理事会、評議員会の議題は上記「Ⅱ-1項」に記載

平成23年

- 5月 2日 平成23年度第1回理事会 (決議の省略)
- 5月16日 平成23年度定時評議員会及び第2回理事会開催
- 5月18日 平成23年度前期国際会議論文発表助成者受給会開催
- 6月21日 平成23年度予備審査委員会開催
 - － 2011年度C&C賞受賞候補者の予備審査
- 7月 5日 平成23年度第1回審査委員会開催
 - － 2011年度C&C賞受賞候補者の選考
- 7月20日 平成23年度第3回理事会開催
- 11月28日 2011年度C&C賞表彰式典挙行政
- 12月6日 平成23年度第2回審査委員会開催
 - － 平成23年度C&C若手優秀論文賞受賞者選考

- － 平成24年度外国人研究員助成受給者選考
- 12月 8日 平成23年度後期国際会議論文発表助成者受給会開催
- 平成24年
- 1月18日 **C&C**若手優秀論文賞受賞者表彰及び外国人研究員助成受給会
- 2月14日 平成23年度第3回審査委員会開催
 - － 平成24年度会議開催日程(案)について
 - － 平成24年度顕彰事業について
 - － 平成24年度研究助成事業について
 - － 助成受給者選考の審査基準について
- 3月7日 平成23年度第4回理事会開催

この間、平成23年9月及び平成24年3月に国際会議論文発表者助成の書類選考が審査委員により行われた。

以上

事業報告書附属明細書
(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)

詳細については、事業報告書の本文内で説明済みであるので内容の記載を省略する。

以上